



神奈川県立よこはま看護専門学校 1 年生、横浜校チューター；石渡さん

推薦・AO 入試合格に向けて

こんにちは！横浜校でチューターをしています、神奈川県立よこはま看護専門学校一年の石渡真帆です。私はこの学校に自己推薦入試で合格しました。今回は、この時期からどのようなことに取り組んだかについてお話ししたいと思います。推薦・AO 入試を考えている方の参考になれば幸いです！！

私がこの時期に取り組んでいたことは大きく分けると次の 3 つです。

① 願書・作文の仕上げ、小論文練習

一日看護体験・学校のオープンキャンパスなどで得た情報や自分の気持ちをもとに願書と提出する作文を早めに書くようにしました。私は、願書や作文は最初の試験科目であるという意識を持っていました。そのため、私は自分の納得がいくまで添削をしていただきました。願書は時間がかかると思うので早めに始めることをオススメします。

実際の面接試験では願書・作文などの提出書類を面接官が見ながら質問をしてくるので、面接練習をより有効的なものにするためにも提出書類が早く仕上がっていることは大事なポイントになってくると思います。小論文も根拠を踏まえて書くことや、時間配分などを練習するためには知識を蓄え、数をこなすことだと思うので毎日文章を書くようにしていました。数をこなすと、話し口調になりがちである、誤字脱字が多いなど自分の癖が見えてくると思います。

私は、自分では気づけないようなところを知るために先生や友達など他の人に見てもらい、客観的な意見やアドバイスをもらうようにしていました。

② 面接対策

私が面接練習を開始した時期は 7 月初めでした。初回で、自分の思いは沢山あるが、うまく言葉で表現できないという壁にぶつかりました。そこで事務局の方にアドバイスをいただき、看護志望理由関連・学校志望理由関連・高校生活のこと・自分の性格についてなど大まかな枠組みを決めて、自分の気持ちを紙に書き、図式化しました。また、過去に何を聞かれているかを報告書から書き出し、過去に聞かれている質問事項にはすべて答えられるように準備しました。

さらに、実際に看護学校に足を運んだ際に、去年同じ入試区分で合格した先輩に話を聞き、どのような雰囲気であったか、どのようなことを聞かれたか、どのような対策をしたかなどを質問しました。このような準備をし、練習を重ねていくうちにどのような質問が来ても答えられるようになりました。また、自分の聞こえている声と相手が聞いている声は異なるということを知っていたので、面接練習の際は自分の声を録音し、声の抑揚の付け方や大きさなどを研究しました。面接練習は夏休みだけで 10 回は越えていたと思います。何回も練習を重ねていこうと言いたいことが言えるようになるので、自分の気持ちを伝えたい！！と思うようになり、練習が毎回楽しくなりました。本番の面接試験も緊張はしましたが、気持ちを伝えるぞ！という気持ちの方が強く試験を悔いなく楽しく受けることが出来ました。自信がつくまで練習を重ねることが大事だと思います！

③ 一般試験に向けた勉強

推薦・AO 入試の勉強も大事ですが、私は一般試験の勉強も大事だと思います。推薦・AO 入試に仮に落ちてしまった場合、その時点から勉強を始めるのでは遅いです。

また、一般試験で入学する学生は当然一般試験の科目の勉強をして入学してきます。入学の前から学力の差は出来るだけ作らないようにした方が良いと思います。余裕がありそうであれば、生物・化学の勉強をしておくといいと思います。

